愛情点検	長年ご使用の電気ケトルの点検を！		
	こんな症状はありませんか	●電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。 ●本体から水もれする。 ●その他の異常や故障がある。	▶ 使用を中止し、故障や事故防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。	ご購入年月日 年　月　日	ご購入店名　TEL　（　）

TIGER

品 番

PCK-H型❷

業務用

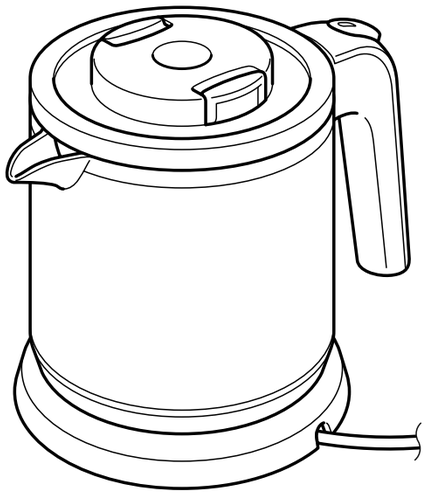
蒸気レス 電気ケトル

わく子

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

この製品は湯わかし専用です。保温機能はついていません。

ご意見をお寄せください。
https://www.tiger-corporation.com

この製品は日本国内交流 100V 専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、海外でのアフターサービスもできません。
This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.
本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

蒸気が外に出ない！ 蒸気レスわく子
安心・安全設計だから置き場所もより自由に選べます

蒸気が外に出ない蒸気レス

この製品は、蒸気を本体の外に出さない構造のため、蒸気孔がありません。

●蒸気が外に出ないため、うっかり蒸気孔から出る高温の蒸気にふれて、やけどをするおそれがありません。

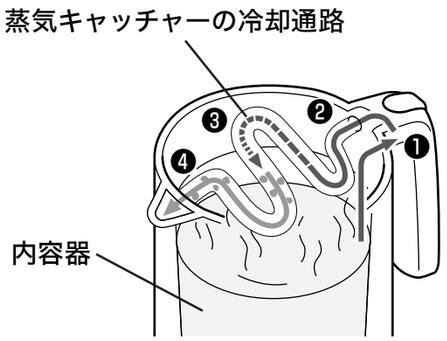
●蒸気による結露の心配がないため、置き場所がより自由に選べます。

※本体が温かいときに湯わかしをすると、注ぎ口から少量の蒸気が出る場合があります。

蒸気キャッチャー構造のしくみ

①沸とう時に出た蒸気を、瞬時に検知する構造で、最小限の蒸気量におさえます。このため、無駄な量の蒸気を発生させません。
②沸とう時に出た蒸気は、蒸気取込口からふた内部の蒸気キャッチャーに入ります。
③蒸気が蒸気キャッチャー内の冷却通路を通って、冷やされます。
④冷やされた蒸気は結露し、水滴になり、注ぐときに出ます。

蒸気は本体の外に出ません。
蒸気レスを行うための操作や蒸気キャッチャー内のお手入れの必要がない構造です。



うれしい安心・安全設計

転倒お湯もれ防止構造

万一倒れてもお湯もれをおさえる構造です。

本体が熱くなりにくい
本体二重構造

ステンレス製内容器と鋼板ケース本体の二重構造で、本体が熱くなりにくい設計です。

沸とうすれば通電自動オフ

沸とうすれば、スイッチが自動的にオフになり、電源が切れます。

万一のカラだきにも安心
カラだき防止

カラだきを検知して自動的にオフになり、電源が切れます。

ワンタッチで開閉できる給湯ロックボタン

注ぐときは給湯ロックボタンを押すだけ。
片手でらくらく操作できます。

ふたがしっかり閉まる
カチットロック

もくじ

安全上のご注意 …… 4
各部のなまえ …… 8
湯わかし
はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき …… 9
お湯をわかして注ぐ …… 10
使わないときはお湯をすてる …… 14
お手入れ
お手入れする …… 15
● こまめにお手入れする箇所・部品 …… 15
● 汚れるたびにお手入れする箇所 …… 15
● 長期間使わないとき …… 16
● 内容器のクエン酸洗浄をする …… 16
こんなときは
故障かな？と思ったら …… 17
● お湯をわかすとき・注ぐとき …… 17
● においがするとき …… 17
● 本体の不具合 …… 17
消耗品・別売品のお買い求めについて … 18
仕様 …… 19
保証とサービスについて …… 19
連絡先 …… 19

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。
⚠注意	傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明	
⃠	してはいけない「禁止」内容です。
●	実行しなければならない「指示」内容です。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

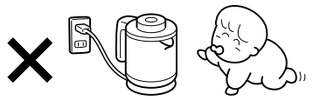
乳幼児には特に注意

⚠警告

禁止
・子どもだけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

接触禁止
・電源プレート接続部をなめさせない。
・注ぎ口にさわったり、顔などを近づけない。

やけど・感電・けがのおそれ。



改造はしない

⚠警告

分解禁止
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない。

感電・けがのおそれ。
火災の原因。
修理は、お買い上げの販売店、または「連絡先→P.19」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトまでご依頼ください。

水のみをわかす

⚠警告

禁止
水以外のものをわかさない。

お茶・牛乳・酒・ティーバッグ・お茶の葉・インスタント食品・備長炭・冷たい水などを入れない。
泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。
こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

禁止
氷を入れて保冷用に使わない。

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

異常・故障時は

⚠警告

必ず実施
すぐに差込プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または「連絡先→P.19」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトに点検・修理を依頼する。

そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。
火災の原因。
〈異常・故障例〉
・電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
・本体から水もれする。
・その他の異常や故障がある。

使用する用途に注意

⚠注意

必ず実施
本製品は一般家庭用途および次のような類似用途に使用する。

・商店、オフィスまたはその他の作業環境に存在するスタッフ（従業員）用キッチンで使用する。
・住居の居間やキッチンと類似した環境で使用する。

ただし、不特定多数による長時間の使用はしないでください。

使用する場所に注意

⚠注意

禁止
次のような場所では使わない。

・不安定な場所
・火気の近く
・水のかかりやすい場所
・底部がぬれるようなところ
・差込プラグに蒸気があたるところ
・直射日光が長時間あたる場所
・壁や家具の近く
・熱に弱いテーブルや敷物などの上

倒れたときに、お湯が流れ出て、やけど・感電のおそれ。
火災・ショート・発火・故障の原因。
本体が熱くなったり変形する、またはテーブル・敷物・壁・家具の変色・変形の原因。

必ず実施
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

火災・感電・発火のおそれ。スライド式テーブルでは、差込プラグに蒸気があたらない位置で使用する。

使用中・使用後は

⚠注意

禁止
湯わかし中は、
・お湯を注がない。
・移動させない。
・ふたを開閉しない。

お湯が飛び散ったり、流れ出たりして、やけどのおそれ。

接触禁止
使用中や使用後しばらくは、高温部にふれない。

やけどのおそれ。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない。

・丸洗いしない。
・蛇口から直接水を入れない。
・底面をぬらさない。

本体内部に水が入り、感電のおそれ。
ショート・感電・発火・故障の原因。

禁止
本体をさかさにして置かない。

故障の原因。

必ず実施
沸とう直後は、本体が熱くなるので注意する。

やけどのおそれ。

必ず実施
お手入れは冷えてから行う。

高温部にふれ、やけどのおそれ。

必ず実施
残り湯をすてるときは、必ず注ぎ口からすてる。→P.14

別の位置からすてると、やけどのおそれ。
本体内部にお湯が入って、故障の原因。

ふた

⚠警告

必ず実施

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。→P.11
沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

禁止

ふたを勢いよく閉めない。沸とう後、しばらくは開閉しない。
蒸気でやけどのおそれ。

必ず実施

ふたパッキンが白く変色したら交換する。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

禁止

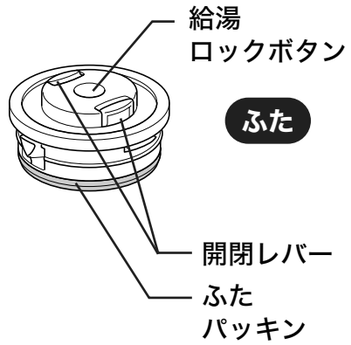
ふたをはずすときに出るお湯や蒸気にふれない。
やけどのおそれ。

禁止

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたがはずれて、やけど・けがのおそれ。

禁止

給湯ロックボタンが押し下がった状態でわかさない。
注ぎ口から蒸気が出て、やけどのおそれ。
また、沸とう時間が長くなったり、蒸気や熱による壁や家具の変色・変形・破損の原因。



本体

⚠警告

禁止

本体に衝撃を加えない。
- 落としたり、ぶつけたりしない。
- 転倒させない。
- 上下に勢いよく振らない。
- 傾けない。ゆすらない。
- 抱きかかえない。

「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけど・けがのおそれ。故障の原因。
過度な衝撃が加わった場合は使用をやめて、お買い上げの販売店、または「連絡先→P.19」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトに点検・修理をご依頼ください。

禁止

ガス火にかけたり、電気ヒーター・電磁調理器・電子レンジなどに使わない。
火災・熱変色・変形・故障の原因。

禁止

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。

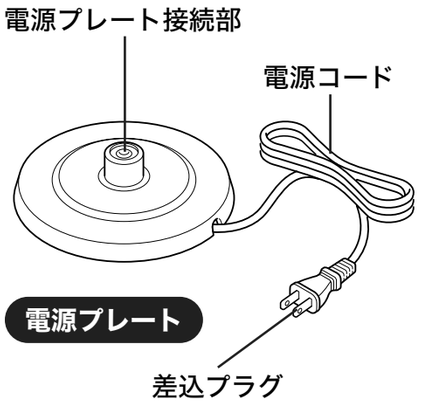
禁止

注ぎ口をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。
ふたの変形の原因。

⚠注意

禁止

カラだきをしない。
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色・故障の原因



電源プレート

⚠警告

禁止

ぬれ手禁止

次のような使いかたをしない。
- 交流100V以外での使用。
（日本国内100V専用）
- タコ足配線での使用。
（他の器具と併用時、分岐コンセント部の異常発熱による発火のおそれのため、定格15A以上のコンセントを単独で使う）
- 電源コードが破損したままや傷つくような使用。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものをのせる・挟み込むなど）
- 差込プラグにほこりが付着したり、傷んだままでの使用。（ほこりはよくふき取る。）
- 差込プラグを根元まで確実に差し込んでいなかったり、コンセントの差し込みがゆるいままでの使用。
- ぬれた手での差込プラグの抜き差し。
- 本体接続部や電源プレート接続部に、ピン・針金など金属物（異物）を入れた状態での使用。また、ごみを付着したままでの使用。

感電・けがのおそれ。
火災・ショート・発煙・発火の原因。
破損した場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先→P.19」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトまで修理をご依頼ください。

禁止

電源プレートを落としたり、衝撃を加えない。
感電のおそれ。
過熱や異常動作の原因。

⚠注意

必ず実施

プラグを抜く

- **使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。**
- **必ず差込プラグを持って引き抜く。**

やけど・けがのおそれ。
絶縁劣化による感電・ショート・発火・漏電火災の原因。

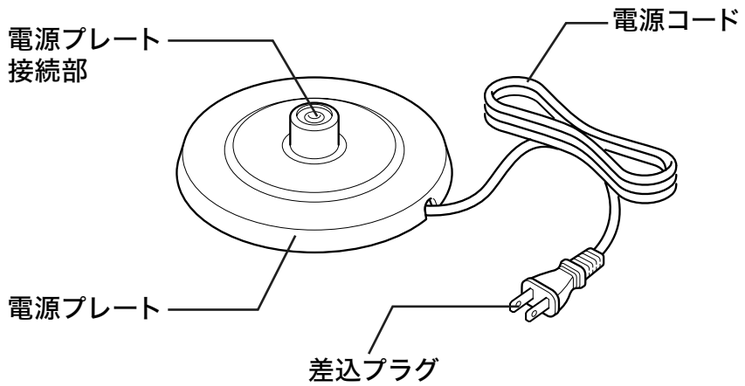
禁止

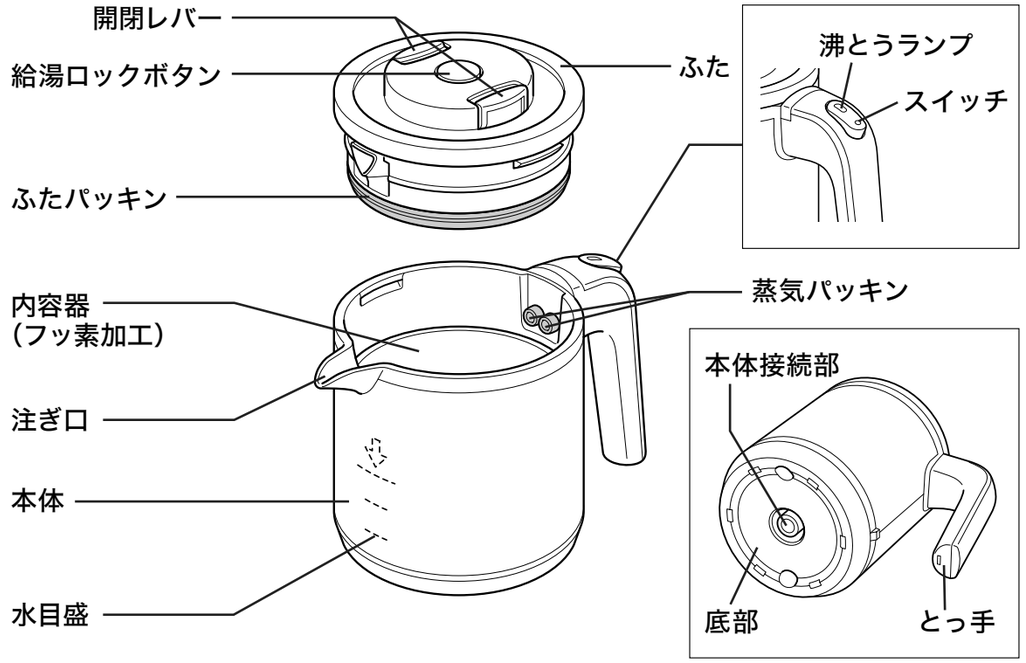
- **この製品専用の電源プレート以外は使わない。**
- **電源プレートを他の機器に転用しない。**

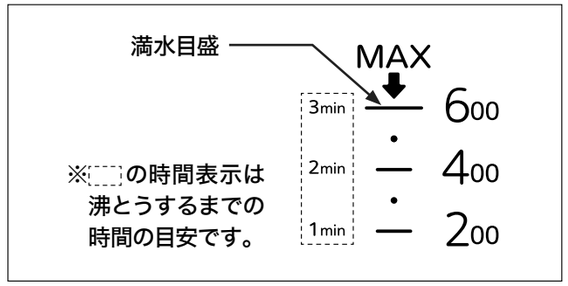
故障・発火の原因。

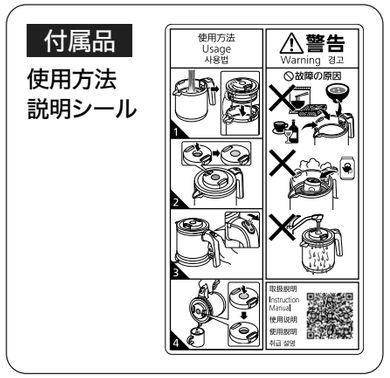
各部のなまえ

箱をあけたら、
まず確認しましょう！

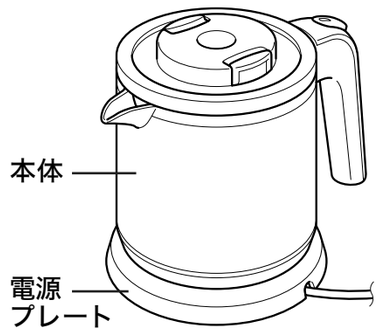








この製品は、本体と電源プレートの
セパレート式になっています。



はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

本体内を洗浄するために、次の手順で、お湯をわかしてすてる。
※使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1. **満水目盛まで水を入れ、お湯をわかす。****→P.10 ～ 13**
2. **お湯がわいたら、注ぎ口からお湯をすてる。****→P.12・13**
3. **ふたをはずして、残り湯をすてる。****→P.14**

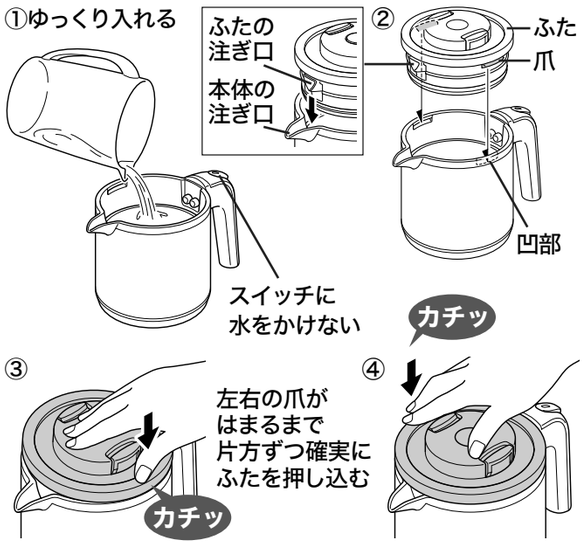
お湯をわかして注ぐ

必要なときに、必要な量のお湯が
すぐに用意できるのね。

1

電源プレートに本体をのせる前に、ふたをはずして、本体に水を別の容器で入れ、ふたをつける。

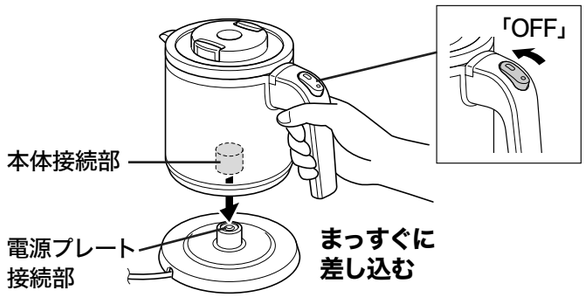
ふたのはずしかた・つけかた→P.14
「満水目盛」以下に入れる。→P.9



2

電源コードを電源プレートの切込みから外に出して平らな面に置き、本体を電源プレートに確実にのせる。

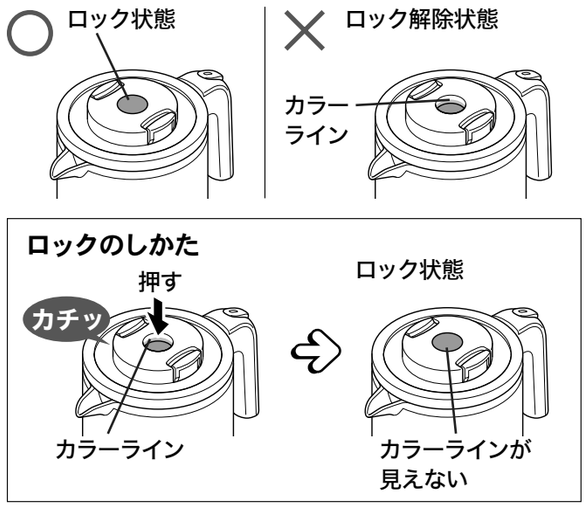
スイッチが「OFF」になっていることを確認する。



3

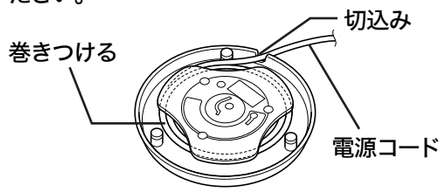
給湯ロックボタンが「ロック状態」になっていることを確認する。

給湯ロックボタンが押し下がった状態で湯わかしをしない。→P.6



電源コードの長さ調節について

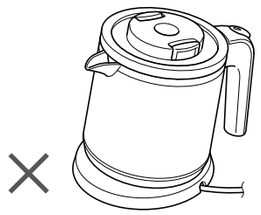
電源コードを電源プレートの底面に巻きつけて長さを調節し、切込みから外に出してください。



切込みから電源コードを外に出す

ご注意

- ◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
- ◆満水目盛を超えて水を入れて湯わかしをしない。→P.6
- ◆電源プレートに本体をのせたまま水を入れない。故障の原因。
- ◆本体が電源プレートにまっすぐ差し込まれていない状態で湯わかしをしない。



※傾いたり、浮いた状態にしないでまっすぐに差し込む。

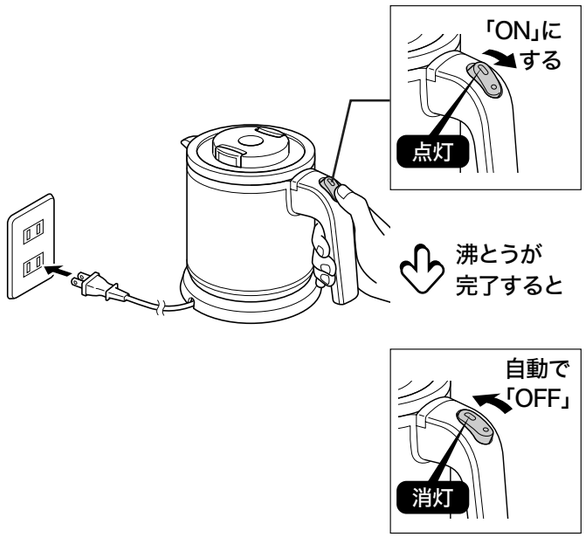
お湯をわかして注ぐ

4 差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にする。

【沸とうが完了すると】
自動的にスイッチが「OFF」になって消灯します。

【湯わかし中に電源を切りたいとき】
スイッチを「OFF」にする。

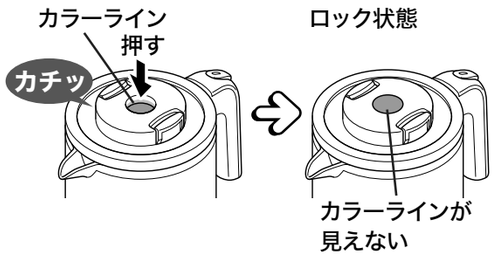
保温はされません。沸とうが完了後放置すると、お湯は冷めます。

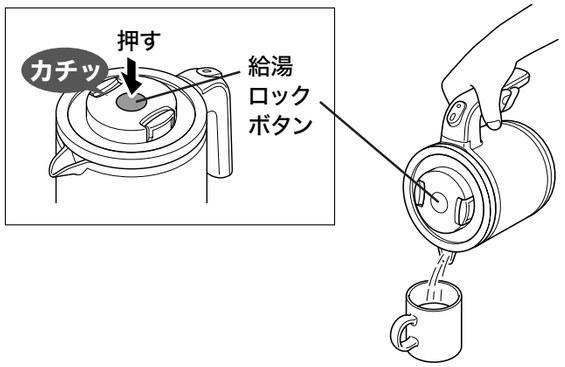


5 スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、差込プラグをコンセントから抜く。

6 電源プレートから本体をはずし、給湯ロックボタンを押して、お湯を注ぐ。

注ぎ終わったら、必ず給湯ロックボタンを押してロック状態にする。





カラだき防止機能のはたらき

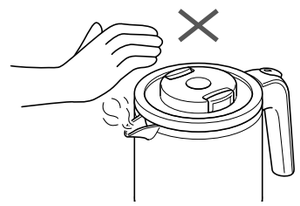
水が入っていない状態でわかしはじめると、スイッチが「OFF」になり、湯わかしが止まります。→P.17

沸とう時間の目安

沸とうするまでの時間の目安は約3分です。
※水温・室温：23度、満水、電圧：交流100Vのときの参考値。

ご注意

◆湯わかし中に本体を電源プレートからはずすと、湯わかしが止まります。
◆本体が温かいときに湯わかしをすると、注ぎ口から蒸気が出るので注意する。

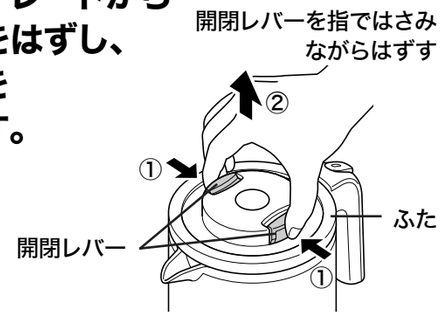


◆製品の性能を保つため、ふたに空気抜きを開けています。給湯ロックボタンがロック状態になっていても、本体を傾けると注ぎ口からお湯がもれますので、ご注意ください。
◆コップなどお湯を注ぐ容器を安定した場所に置いてから注ぐ。お湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。
◆お湯を注ぐときは、本体を傾けすぎない。ふたの中にお湯が入り、ふたを開けたときにこぼれ、やけどのおそれがあります。

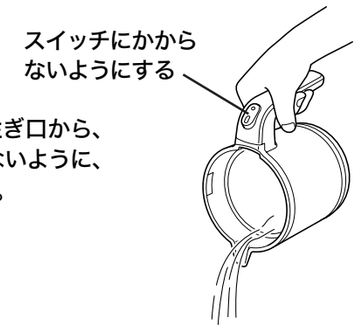
使わないときはお湯をすてる

いつもおいしいお湯がわかせるように、使わないときは、ふたをはずして、残り湯をすてるといいのね。

1 電源プレートから本体をはずし、ふたをはずす。



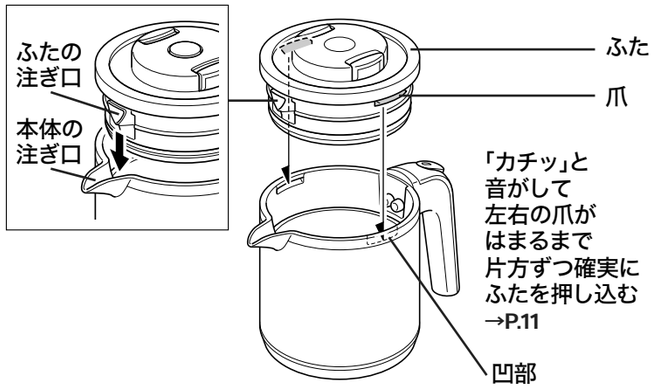
2 残り湯をすてる。



とっ手を持って注ぎ口から、お湯が飛び散らないように、ゆっくりとすてる。
やけどのおそれ。

3 ふたをつける。

本体とふたの注ぎ口の向きを合わせてつける。



内容器にお湯を残さない

内容器が変色したり、においの原因になるので、残り湯はすてる。

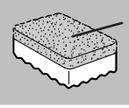
使用後はお手入れする

内容器は、こまめにお手入れする。→P.15

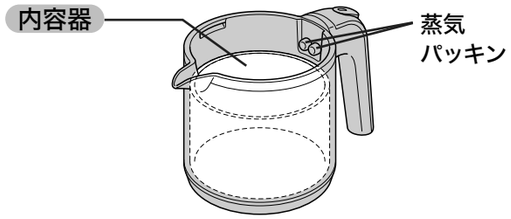
お手入れする

こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れする。
◆水につけたり、水をかけたりしない。丸洗いしない。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
◆スポンジの研磨粒子部分で洗わない。



こまめにお手入れする箇所・部品

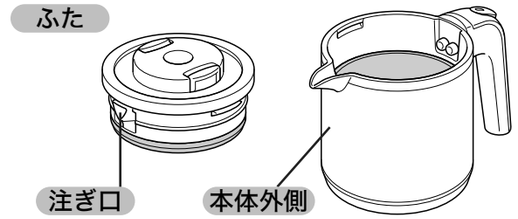


内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、すすぐ。（外側はぬらさない。）

ご注意

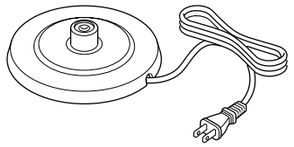
◆洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわし・メラミンスポンジなどは使わない。水目盛やフッ素加工が傷つく原因。
◆食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。
◆カラだきによる内容器の変色は取れません。
◆とっ手内側の蒸気パッキンははずせません。

汚れるたびにお手入れする箇所



よくしぼったフキンでふき取る。

電源プレート



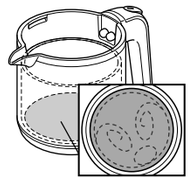
乾いた布でふく。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が、内容器に付着して下記のようになることがありますが、有害ではありません。汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.16

・内容器に、サビのような赤いはん点ができた。
・内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
・お湯に白い浮遊物が浮く。

内容器の底の汚れについて



内容器の底に模様のような汚れがつく場合がありますが、これは本体内蔵のヒーターの形状に沿ってできるものです。変色や腐食ではありません。
汚れが気になりはじめましたら、クエン酸洗浄をこまめに行ってください。→P.16

ご注意

◆内容器は、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.16
ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯わかし中の音が大きくなる原因。
◆ミネラルウォーターや、アルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を湯わかししたときは、よりこまめにお手入れする。
付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因。

お手入れする

長期間使わないとき

1 P.15の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。

2 各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）

3 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

内容器のにおいや汚れが目立ってきたら

内容器のクエン酸洗浄をする

（1 ～ 3カ月に1回の目安）

1 クエン酸　約30g（大さじ2 ～ 3杯）を、内容器に入れる。

2 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたをつける。（お湯は入れない。）→P.9・10・11・14

3 差込プラグを接続して、お湯をわかし、約2時間放置する。→P.12・13

4 差込プラグとふたをはずして、お湯をすてる。→P.14

5 汚れが残っているときは、スポンジでこすり落とす。（落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。）

6 内容器と注ぎ口をすすぐために、水だけで通常どおりにわかし、ふたをつけた状態でお湯をすてる。→P.10 ～ 13

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.19」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）
品番	PKS-0120
部品コード	PKS1007

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
お湯をわかすとき・注ぐとき	お湯がわかない。（沸とうランプがつかない。）	電源コードがはずれていませんか。	差込プラグを接続する。	12・13
		本体が電源プレートに正しくのっていますか。	正しくのせてください。	10・11
		スイッチが「OFF」になっていませんか。	スイッチを「ON」にしてください。	12・13
		電源プレート上面や電源プレート接続部に、金属片やごみが付着していませんか。	差込プラグを抜いてから、金属片やごみを取り除いてください。	7
		水が入っていない状態でスイッチを「ON」にしていませんか。カラだき防止機能がはたらくとスイッチが「OFF」になります。	いったん本体を電源プレートからはずし、内容器が充分に冷めてから水を入れて、ふたをつけ、お湯をわかしてください。	
	注ぎ口からお湯が勝手に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以下にする。	9・10・11
	「ゴー」という音がする。	「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。		
	「ゴー」という音がいつもより大きい。	内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。	クエン酸洗浄をする。	16
	沸とうが止まらない。	給湯ロックボタンが「押し下がった状態」になっていませんか。	給湯ロックボタンを「ロック状態」にする。	10・11
	お湯がもれる。	製品の性能を保つため、ふたに空気抜きを開けています。給湯ロックボタンがロック状態になっていても、本体を傾けると注ぎ口からお湯がもれますので、ご注意ください。		13
においがするとき	お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。		
		使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		9
本体の不具合	内容器が汚れている。（お湯に白い浮遊物が浮く。）	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。	クエン酸洗浄をする。	15・16
	内容器の底に模様のような汚れができた。	本体内蔵のヒーターの形状に沿ってできるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。	クエン酸洗浄をする。	15・16
	プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
	使用後しばらくすると音がすることがある。	熱せられた部品の冷めるときに発生する音ですので、使用上の品質に問題はありません。		

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

◆ふたパッキン（消耗品）

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換してください。
（倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。）
・白く変色した。
・汚れや破損がひどくなった。
・ふたのすき間から蒸気がもれ出した。

部品番号	PCK1006

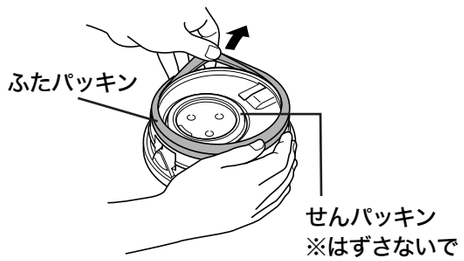
◆樹脂部品（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
食品衛生上安全な材料を使用していますが、変色したりザラザラしてきた場合は、交換してください。
（有償）

ふたパッキンの交換のしかた

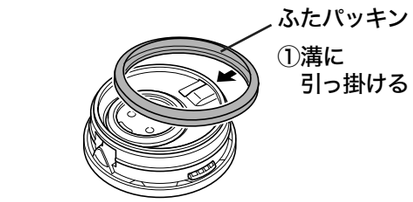
はずしかた

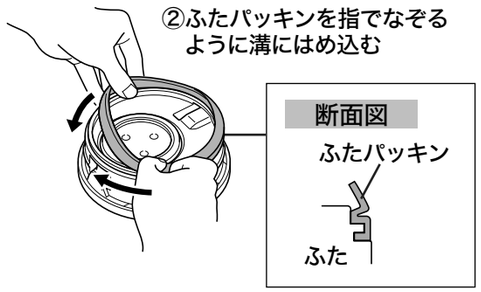
ふたパッキンをはずす。



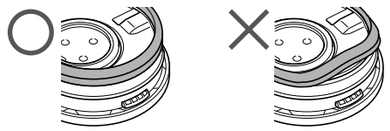
つけかた

新しいふたパッキンを、ふた外周にきっちりとはめ込む。





確実にはまっていることを確認する



ご注意

◆ふたパッキンは確実に取りつける。また、ふたパッキン以外の部品を、ふたからはずさない。蒸気もれやお湯のふきこぼれ、やけどをするおそれ。

◆ふたパッキンを交換しても蒸気がもれたり、お湯がふきこぼれるときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。上記にてお問い合わせください。

仕様

定格容量(L)	電源	定格消費電力(W)	コードの長さ*1（m）
0.6	交流100V 50-60Hz	1300	1.3

本体のみ				本体＋電源プレート（本体を電源プレートにのせた状態）			
外形寸法*1 （cm）			質量*1（kg）	外形寸法*1 （cm）			質量*1（kg）
幅	奥行	高さ		幅	奥行	高さ	
14.3	25.0	18.5	0.81	15.9	25.0	20.1	1.0

＊1　おおよその数値です。　※特定地域（高地・厳寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

〈抗菌加工について〉

とっ手には銀系（Ag）抗菌加工を施したポリプロピレン樹脂を使用しています。
○試験依頼先：大和化学工業株式会社 評価技術センター
○試験方法　：JIS Z 2801（ISO22196）に基づき抗菌加工を確認済
○対象場所　：とっ手
○加工方法　：プラスチックに練り込み加工
○使用抗菌剤：銀系抗菌剤
○試験結果　：抗菌活性値2.0以上

保証とサービスについて

※ 保証書は商品に同梱している取扱説明書に掲載しています。

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら→P.17」をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 ・・・ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき ・・・ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけ詳しく）

4 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

※材料調達や設備状況等によっては、10年未満で供給できなくなる場合がございます。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 ・・・ 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。

部品代 ・・・ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先　タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談　**お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）
0570-011101
有料でご案内させていただいております。

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）

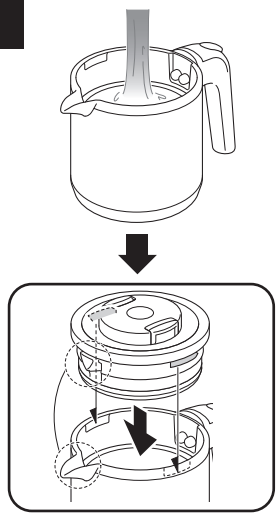
消耗品・別売品のご購入サイト
https://www.tiger-shop.jp

修理に関するご案内・受付サイト
https://www.tiger-forest.com/c/6PZ2

ホームページアドレス　https://www.tiger-corporation.com　※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

使用方法　Instruction manual　使用方法　使用方法　사용방법

1



電源プレートに本体をのせる前に、ふたをはずして、本体に水を入れ、ふたをつける。

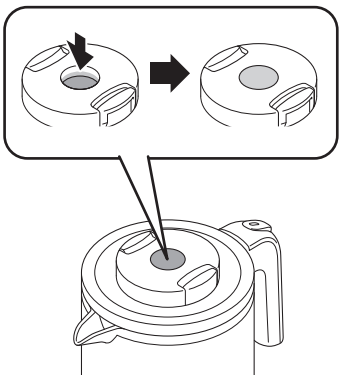
Remove the lid, fill the kettle with water, and replace the lid before placing the pot on the power base.

在将电热水壶本体放到电源座上之前，请打开电热水壶上盖，向本体中注入水，然后盖上上盖。

將電熱水壺本體放到電源座上之前，請打開電熱水壺上蓋，向本體中注水，然後蓋上上蓋。

전원 플레이트에 본체를 얹기 전에 뚜껑을 열어 본체에 물을 넣고 뚜껑을 닫는다.

2



給湯ロックボタンが「ロック状態」になっていることを確認する。

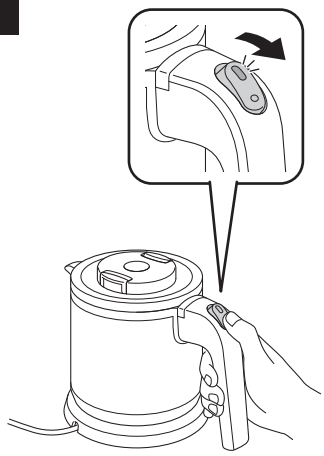
Ensure the water dispensing lock button is in the locked position.

确认热水出水锁定按钮处于“ 锁定状态 ”。

確認熱水出水鎖定按鈕為「鎖定狀態」。

온수 잠금 버튼이 ‘잠금 상태’로 되어 있는지 확인한다

3



差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にする。

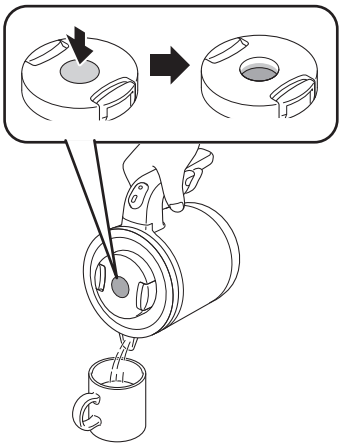
Insert the plug into a power outlet and turn on.

将插头插入插座，然后将开关扳到“ON”。

將插頭插入插座，並將開關按到「ON」側。

삽입플러그를 콘센트에 꽂고 스위치를 ‘ON’으로 한다.

4



沸とう完了後、電源プレートから本体をはずし、給湯ロックボタンを押して、お湯を注ぐ。

Once the water has boiled, remove the kettle from the power base, disengage the lock button, and pour the hot water.

水烧开后，从电源座上拿起电热水壶，然后按下热水出水锁定按钮，倒出开水。

水煮沸後，將電熱水壺本體從電源座上拿下，然後按下熱水出水鎖定按鈕，倒出開水。

끓인 후 전원 플레이트에서 본체를 내려두고, 온수 잠금 버튼을 눌러 해제 후 온수를 따른다.

警告
Warning
警告
警告
경고

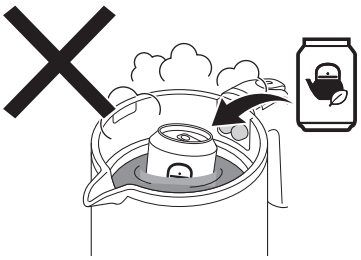
水以外のものを入れて沸かさない。

Neve boil anything but water.

禁止加热水以外的东西。

禁止加熱水以外的東西。

물 이외의 것을 넣고 끓여서는 안 된다.



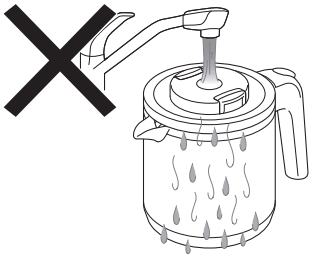
缶などを入れて沸かさない。

Do not place cans or other containers inside the kettle.

禁止放入罐类等加热。

請勿放入罐頭類等加熱。

캔 또는 기타 용기를 넣고 끓여서는 안 된다.



水につけたり、水をかけたりしない。

Do not submerge in or splash with water.

禁止将电热水壶浸入水中或向电热水壶洒水。

不得將電熱水壺浸入水中或向電熱水壺灑水。

물에 담그거나 물에 젖지 않도록 한다.